



ひだか

平成30年12月1日 No.103

市民がつくる
日高のまつり!



平成30年第3回（9月）定例会審議結果

○・・・賛成 ×・・・反対

議案番号	議員名 議案等の名称	審議結果	鶴声会			改革 フォーラム		絆の会		公明党		志正会		清風会		萩の会		日本 共産党	賛 成	反 対
			吉本 新司	稲浦 巖	清水 孝晏	齋藤 忠芳	安藤 重男	大澤 博行	石井 幸良	鈴木 健夫	池田 和子	森崎 成喜	橋本 利弘	山田 一繁	大川戸 岩夫	平井久 美子	田中ま どか			
第43号	平成29年度日高市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第44号	平成29年度日高市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	14	1
第45号	平成29年度日高市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	14	1
第46号	平成29年度日高市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	14	1
第47号	平成29年度日高市武蔵高萩駅北土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第48号	平成29年度日高市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第49号	平成29年度日高市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第50号	平成30年度日高市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第51号	平成30年度日高市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第52号	平成30年度日高市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第53号	平成30年度日高市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第54号	平成30年度日高市武蔵高萩駅北土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第55号	日高市小規模企業振興基本条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第56号	日高市議会議員及び日高市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	○	13	2
第57号	日高市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第58号	日高市重度心身障害者医療費助成金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	14	1
第59号	市道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
第60号	市道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	15	0
請願 第1号	老朽化した東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	○	○	○	3	12

提出議案と 審議結果

(議案第50号)

平成30年度日高市一般会計 補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1千1万3千円を追加し、補正後の総額を、それぞれ17億8千925万5千円とし、また、既定の地方債の限度額の変更をしたいというものです。

歳入については、地方特例交付金の交付額が決定したことに伴う増額、地方交付税の普通交付税の交付額が決定したことに伴う減額、県支出金のうち、北平沢運動場維持管理事業の財源として「ふるさと創造資金」を追加、繰入金のうち、平成29年度決算に基づく精算により、国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の各特別会計からの繰入金を増額、また、今回補正予算額の歳入歳出差引きの調整を行うため、財政調整基金からの繰入金を減額、平成29年度決算により繰越金が確定したことによる増額、諸収入のうち、平成29年度決算の精算

により、埼玉西部消防組合及び広域飯能斎場組合からの負担金返還金を増額、市債のうち、臨時財政対策債の発行可能額が決定したため増額するものです。

歳出については、総務費のうち、総務管理費では、人事給与関係事務で、平成32年4月1日に地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律(平成29年法律第29号)が施行されることから、これに対応する条例改正等に必要な情報取得するための使用料を追加、財政調整基金管理運用事務で平成29年度決算の剰余金の一部を財政調整基金に積み立てるため増額、公共施設整備基金管理運用事務で、公共施設整備基金積立を増額、総合戦略推進事務で、平成31年春巡業大相撲日高場所の開催に向け、大相撲日高場所実行委員会に対する補助金を追加、徴税費では、個人市民税賦課事務で、システムに機能を追加するため、市県民税算出事務委託料を増額、民生費

のうち、社会福祉費では、重度心身障がい者医療費助成事業で、助成制度に所得制限を導入することから、重度心身障がい者医療システム改修委託料を増額、介護保険特別会計繰出事務で、介護認定調査に係る臨時的任用職員を増員するため、繰出金を増額、国民健康保険特別会計繰出事務で、平成29年度決算に基づく精算により、繰出金を増額、土木費のうち、都市計画費では、土地区画整理事業特別会計繰出事務で、武蔵高萩駅北土地区画整理事業特別会計の平成29年度決算に基づく精算

等により、特別会計繰出金を減額、消防費のうち、消防費では、消防団事務で、日高市消防団が富山県で開催される第26回全国消防操法大会へ出場することとなったことから、所要の費用を増額及び追加したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第51号)

平成30年度日高市国民健康 保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億5千317万円を追加し、補正後の総額をそれぞれ63億3千871万8千円としたいという

うものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第52号)

平成30年度日高市後期高齢 者医療特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ51万8千円を追加し、補正後の総額をそれぞれ6億7千963万3千円としたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第53号)

平成30年度日高市介護保険 特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億3千765万8千円を追加し、補正後の総額をそれぞれ41億7千951万1千円としたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第54号)

平成30年度日高市武蔵高萩 駅北土地区画整理事業特別 会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ2千400万円を減額し、補正後の総額を、それぞれ6億6千304万7千円としたいというものです。

歳入については、社会資本整備総合交付金の交付額が予

定していた額を下回ったことによる国庫支出金の減額、平成29年度決算による繰入金金の減額、並びに、繰越金の増額を行うとともに、国庫支出金の変動に伴い起債限度額を引き下げ、市債を減額したいというものです。

歳出については、補償金の減額、既定の地方債の限度額を変更したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第55号)

日高市小規模企業振興基本 条例

市内の企業のうち、小規模企業は全体の約7割を占めており、市の経済において重要な役割を果たしている。

このことを踏まえ、小規模企業の事業の持続的な発展を図り、市経済の活性化及び市民生活の向上に寄与するため、小規模企業の振興に関し、基本的事項を定めたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第56号)

日高市議会議員及び日高市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例

立候補の機会を確保し、候補者間の選挙運動の機会の均等を図るため、公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙運動用自動車の使用等に係る公費負担の限度額を引き上げるとともに、公職選挙法の改正に伴い、市議会の議員の選挙における選挙運動用ビラの作成に係る公費負担について定めたいというものです。

(賛成多数で原案可決)

(議案第57号)

日高市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例

武蔵台学童保育室の拡張を機に全ての学童保育室の定員を見直し、国の定める面積基準に従って受入れ可能な人数の上限を、条例で定める学童保育室の定員として定めたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第58号)

日高市重度心身障害者医療費助成金の支給に関する条例の一部を改正する条例

重度心身障害者医療費助成制度における負担の公平性を図るため、医療費助成について所得制限を導入するため、これを定めたいというもので

す。

(賛成多数で原案可決)

討 論

議案第58号 反対討論

本議案は、県の補助金交付要綱において重度心身障害がい医療費助成制度の対象者に所得制限を導入したことにより、それに準じた見直しを行うものである。現在の対象者から人数で30人から40人、率にして2・59%から3・45%の方が対象外になると全員協議会で説明されている。

この率は、知事が今年2月の定例県議会で推定値として答えた2%程度よりも高く、日高市においてはより影響が大きいと考える。

また、県は障がい者の医療費助成制度は本来国が実施すべきものと説明しているが、国が実施しない場合、県そして市が自治体として本来の役割を果たすべきである。

重度心身障害がい者医療費助成の対象外となる方の負担増、対象者の将来的な不安をそのまま受け入れることはできない。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第58号 賛成討論

障がいのある方は、それだけで生活上困難があり、重度心身障害がい者への医療費の助成はその方たちの経済的負担の軽減に寄与してきたが、今回の見直しで負担をお願いするのは、扶養者がいない場合で所得360万4千円以上、収入額で58万円以上の方。本人の所得のみを対象としており、家族の所得は対象にしていない。本人の所得のみを対象としているのはこの制度を導入している41都道府県のうち埼玉県を含む6県のみである。また今回の見直しは、障がいを原因とする医療費に対してではなく、風邪などの一般的な治療費に対してである。障がい者であっても、負担能力のある方には相応の負担をとるという改正の趣旨である。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第59号)

市道の路線の認定について

市道用地の一部民地との交換に伴い、路線の終点に変更が生じることから、新たに終点変更後の路線を認定したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第60号)

市道の路線の廃止について

市道用地の一部民地との交換に伴い、認定路線1路線の廃止をしたいというものです。

(全員賛成で原案可決)



平成29年度の決算が

認定されました

決算認定とは、歳入歳出予算の執行の実績である決算について審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認するもので、9月議会会期中に、決算特別委員会の設置から議決(決算の認定)までを行いました。

(議案第43号)

平成29年度日高市一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が、185億2千119万6千488円、歳出総額が、177億3千408万2千939円で、歳入歳出差引額は、7億8千71万3千549円である。

(全員賛成で認定)

決算特別委員会

委員長	吉本 新司
副委員長	池田 和子
委員	佐藤 真
委員	田中まどか
委員	大澤 博行
委員	山田 一繁
委員	森崎 成喜
委員	齋藤 忠芳

(議案第44号)

平成29年度日高市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が、74億2千138万1千275円、歳出総額が、72億7千485万3千274円で、歳入歳

提出された 請願書

第3回定例会に、次の請願書が提出されました。

◆老朽化した東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する請願

(不採択)

出差引額は、1億4千652万8千1円である。

(賛成多数で認定)

討 論

議案第44号 反対討論

平成28年度厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」を見ると、不安定な雇用形態の非正規労働者、厳しい生活状態の方が多い高齢者が被保険者となっている実態が伺える。結果として、被保険者証を持っても、よほどのことがないと病院に行けないという切実な声も聞かれる。また、国保税を払えず資格証明書を渡される方が、日高市でも平成29年度で32世帯ある。

こうした現状は、国民皆保険制度の最終的な受け皿としてふさわしいものとは言えない。

日高市でも軽減分の繰入金など低所得者のための努力がされ、国の負担金の引き上げを継続的に要望してきているが、国が財政負担を削減してきたために、国保税負担は重くなっている。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第44号 賛成討論

国民健康保険制度は、医療保険制度の中核として、地域医療の確保と地域住民の健康維持増進のために重要な役割を果たしている。

本決算は、前年度決算と比べ、歳出では、保険給付費などが減少し、歳入では経営努力が認められ国庫支出金が増額したことなどにより一般会計からの繰入額は、減額となった。これは、財源の確保とともに医療費の適正化に努めた結果である、と評価するものである。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第45号)

平成29年度日高市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が、6億4千487万8千201円、歳出総額が、6億3千971万8千578円で、歳入歳出差引額は、515万9千623円である。

(賛成多数で認定)

討 論

議案第45号 反対討論

平成29年度分の後期高齢者

医療保険料は、28年度と同様、所得割率が0.5%引き上げられ、高齢者にとって大きな負担となっている。改善のために、国が財政措置を講じて保険料の上昇を抑制することが必要である。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第45号 賛成討論

後期高齢者医療制度は、「埼玉県後期高齢者医療広域連合」が主体となり、市町村と事務を分担しながら運営されている。

本決算は、保険料の収納を適切に行うとともに、広域連合への納付を確実に実施しており、安定した財政運営に努力がなされたものと認めることができる。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第46号)

平成29年度日高市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が、39億358万6千939円、歳出総額が、36億7千494万6千616円で、歳入歳出差引額は、2億2千864万323円である。

(賛成多数で認定)

討 論

議案第46号 反対討論

介護保険料が県平均よりも抑えられるなど、市の高齢者施策の努力は認められる。しかし、介護保険の第1号被保険者の保険料が引き上げられたことにより負担は増え、28年度に比べて滞納繰越の収納率は45%下がり、不納欠損額、未納額も増えている。

このような問題を改善するためには、国が財政措置を伴った施策を実施することが必要である。昨年なかった国庫支出金の調整交付金が交付されたが、本来国が25%負担するべき財源が16.58%にとどまるように、現状ではそのような施策は不十分である。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第46号 賛成討論

本決算については、要介護・要支援認定者の介護サービス利用により給付された介護給付費や、介護予防・日常生活支援総合事業等のサービス提供に係る地域支援事業費などの内容をみると、いずれも効果的に執行されたものと認められる。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第47号)

平成29年度日高市武蔵高萩駅北土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が、8億3千530万5千532円、歳出総額が、7億829万8千982円で、歳入歳出差引額は、1億2千7百万6千550円である。

(全員賛成で認定)

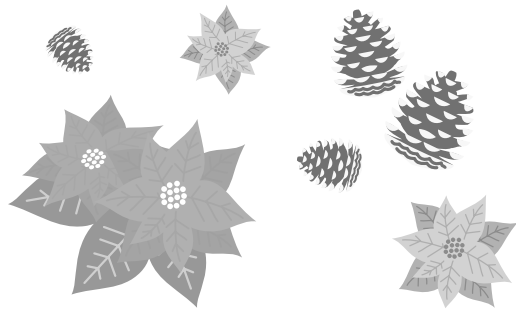
(議案第48号)

平成29年度日高市水道事業会計決算の認定について

収益的収入及び支出は税抜きで、収入11億9千579万3千269円、支出10億7千218万7千566円で、収支差引1億2千360万5千703円の純利益である。

資本的収入及び支出は税込みて、収入1億4千791万4千399円、支出3億5千502万7千399円で、収支差引2億711万3千399円の資金不足となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金並びに建設改良積立金をもって補填した。

(全員賛成で認定)



(議案第49号)
平成29年度日高市下水道事業会計決算の認定について
収益的収入及び支出は税抜きで、収入10億5千794万2千654円、支出9億9千349万4千714円で、収支差引6千444万7千940円の純利益である。
資本的収入及び支出は税込みで、収入6億3千158万8千643円、支出10億7千611万9千583円で、収支差引4億4千453万940円の資金不足となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金をもって補填した。
(全員賛成で認定)

「日高市交通政策に係る提言」を市に対して行いました

本市の交通を取り巻く様々な問題を的確にとらえ、市民生活の向上に向け、交通政策全般にわたった今後の施策の方向性について、専門的見地から討議、検討するために交通政策検討委員会を設置し、市民のためにより良い施策を市に提言すべく、日高市の公共交通の概要、公共交通の取組、旅客自動車運送事業、地域自主運行（横手台自治会 デマンド交通）についての勉強会を開催し、本市の公共交通について理解を深めてまいりました。

勉強会のまとめ及びそこから導き出されたものを提言書とし、9月定例会閉会日（9月21日）に市長に手渡しました。



勉強会の様子（横手台自治会館）

日高市交通政策に係る提言書

人口減少を抑制するためには、市民が「住み続けたい」と思える環境づくりを図っていくことが必要である。そのためには買い物や通院などの移動手段に困らずに済む、いわゆる「おでかけ」の利便性の確保が求められる。

ついては、本市において実施されている交通政策に係る施策を基本としつつ、次のとおり内容の拡充等に関して提言を行うものである。

(1)高齢者等の移動手段確保

移動手段の確保を念頭に置いた、交通施策の検討を多角的に進められたい。

(2)地域自主運行事業

実現可能性については、地域性を考慮しながら検討を進められたい。

(3)高齢者等おでかけ支援事業

①対象者の拡大：対象年齢の引き下げ

②補助内容の拡充：補助限度額の引き上げ

※なお、内容については概要を記載しています。

自転車事故から身体を守るため、ヘルメットの着用に努めましょう!

自転車用ヘルメットの購入費用を補助しています。(問い合わせ先 市役所交通政策課)

自転車に乗る時はヘルメットをかぶろうね



市長 行政報告 抜粋

天皇皇后両陛下の行幸啓記念碑の設置について

昨年(2019年)の9月20日に、天皇皇后両陛下が巾着田曼珠沙華公園を訪問されたことを記念し、巾着田第一駐車場奥に行幸啓の記念碑を設置いたしました。

記念碑には、両陛下が公園内を観賞された際のエピソードを刻み、ご訪問を後世に伝えてまいります。

9月17日に、巾着田において除幕式を行いました。



行幸啓記念碑

子育て総合支援センター愛称「ぬくぬく」について

多くの親子にご利用をいただき、大変、好評を得ております。

今後、「ぬくぬく」で過ごす親子が、この愛称に込められておりますように、ぬくもりに包まれ、温かい気持ちになり、笑顔で過ごしていただけるような運営に努めてまいります。

巾着田曼珠沙華まつりについて

毎年、多くの皆様にお越しいただいております巾着田曼珠沙華まつりでございますが、今年は、9月15日から30日までの16日間開催いたしました。

期間中は、物産販売店、飲食店が出店し、特産品や地元グルメをPRしたほか、ステージイベントで来場者の皆様のおもてなし、また、9月23日には、今年で3回目となる「ひだか栗フェスティバル」を開催いたしました。

県内随一の生産量を誇り、

当市の特産品である栗の消費拡大を通じた農業の振興と当市の知名度向上を図るため、栗を使用した商品の販売・PRを行いました。

友好都市交流事業について

9月27日に、友好都市である大韓民国烏山市から、烏山市職員、及び、同市の名誉環境監視員の一行が、日高市の環境施設を視察するため来日し、28日に、浄化センターをはじめ、市内の廃棄物処理施設等を訪問しました。

また、スポーツ交流事業として、10月6日から8日までの3日間、日高市内の小学生が烏山市を訪問し、両市の小学生によるサッカーの親善試合を行いました。烏山市並びに日高市の小学生がスポーツやホームステイを通して、友情の芽を育て、両市の友好親善を、より一層深めるものと期待しております。

日高市民まつりについて

第28回を迎えます今回の市

民まつりは、「市民がつくる日高のまつり」をキャッチフレーズに11月10日、11日に、ひだかアリーナ並びにその周辺を会場として開催いたしました。

2日間を通じて、多くの市民の皆様楽しんでいただいたものと考えております。

なお、今年は、烏山市長並びに烏山市議会議員をお招きいたしました。

大相撲日高場所の開催について

来年4月25日に大相撲日高場所を開催いたします。実行委員会を立ち上げ、公益財団法人日本相撲協会との巡業契約を締結し、開催に向けて、準備を進めてまいります。



インフルエンザを予防しましょう！

インフルエンザで大切なことは

- ①まずはかからない(しっかり予防)
- ②かかったらうつさない(安静)

※ 風疹も流行っています。特に妊婦の方は、ご注意ください。



市政のここが聴きたい！

一般質問

7議員が登壇

傍聴者延べ87名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。

問 高齢化率と介護保険料基準額の県内の水準は。

答 高齢化率は31%。県平均の25.5%を上回り、近隣市では一番高く県内63市町村の中で高い方から17番目に位置している。介護保険料基準額は月額で4千700円、国平均月額5千869円、県平均月額5千58円を下回っており、全国1千571保険者中、基準額の低い順で90番目、県内61保険者中15番目に位置している。

問 健康マイレージ事業と合わせて高齢者ボランティアポイント制度を進めることへの見解は。

答 県内では20あまりの市町において、ボランティアポイント制度が実施されている。近隣市町村等の状況を把握しながら、制度の実施について研究を行っていく。

問 ボランティアポイント制度導入に支障となるものは。

答 ボランティアの内容も福祉、環境、防犯や交通安全に関することなど様々であり、これをポイントとして公平に反映できるとはなかなか導入にあたっての課題になる。

問 児童虐待防止について

問 過去5年間の児童虐待の相談件数の推移と内容は。

答 平成25年度は37件、平成26年度は30件、平成27年度は34件、平成28年度は42件、平成29年度は55件と年々増加している。内容は、身体的虐待が22件、育児放棄・怠慢が20件、心理的虐待は13件である。

問 継続的な支援や虐待のおそれのある子どもの家庭が転居等により当市を離れた時の他行政との連携は。



健康長寿のために楽しく体操

答 文書で家族状況、概要、虐待リスクなどの情報を提供し継続的な支援を依頼。状況によっては転出先市区町村に同行し、担当者に直接引き継いでいる。

胃がん対策としてのピロリ菌検査について

問 特定健診と同時に申し込みができるようにすることへの見解は。

答 現在、胃がん検診は集団による検診を実施している。同時に実施するには、個別検診ができるようにすることが必要。今後は、実施方法を研究していく。



高齢者がいきいきと活躍できるまちづくりについて

池田 和子



シティプロモーションについて

鈴木 健夫

問 シティプロモーションで地域再生や観光振興、そして、市民や団体、事業者との協働をどのように推進していくのか。

答 市民や民間事業者など地域の方々と、市の魅力や価値を発掘・共有しながら、より効果的なものを研究していく。

問 シティプロモーションの推進には、指針の策定が必要ではないか。

答 次の総合計画策定に向けて、シティプロモーションの位置付けを検討していく。

学校のICT環境整備について

問 小学校のプログラミング教育やICTを活用した学習活動の充実、子どもたちの情報活用能力の育成に向けての取組は、タブレット端末を中心として、学校規模に合わせた整備を進めたい。

答 ICT教育のデメ

リットとして挙げられている、子ども達の読書量や手書きの機会の減少をどう考えているか。

答 授業では文章の読解や書き取りなど、学習の基礎をしっかりと固めることも必要であり、学習ツールとしてのICT機器は、授業の場面や児童生徒の発達段階に応じた活用が重要になると考える。



ICTを活用した授業風景

教員事務支援員の配置について

問 多忙な教員の負担軽減につながる教員事務支

援員の配置をどう考えるか。

答 配置を進めていくことは、教員の事務負担を軽減し、児童生徒に向き合う時間を確保する等、教員本来の業務を充実させるためのものと認識している。

ブロック塀の安全確保について

問 市有施設における、危険ブロック塀等の撤去や、改修等の進捗状況はどうなっているのか。

答 安全面から、対応の必要があると判断したブロック塀等が7か所あり、1か所を残して撤去と改修は完了した。

問 危険と確認された民間ブロック塀等がある通学路の変更等はあるのか。

答 保護者や見守りボランティアの意見を聞きながら、交通安全や防犯面など総合的に判断して、必要な場合は変更したい。



社会保障制度最後のセーフティーネットを果たす方策について

平井 久美子

問 生活保護基準の見直しで影響は。

答 平成30年度の見直しで生活保護が廃止となる受給者はない見通し。

生活困窮者の自立支援について

問 現在の支援策と今後の計画及び周知方法は。

答 包括的な支援を行う自立相談支援、住宅確保給付金の支給、貧困の連鎖防止を目的とした子ども学習支援事業を実施。今後、一層の自立促進を図るため就労準備支援事業及び家計改善支援事業について研究する。

自立相談支援センター等に名刺サイズのカードを置いて一人でも多く支援できるように努める。

引きこもり支援について

問 実態調査の計画及び今後の対策は。

答 国の実態調査の動向を注視し研究する。自立

相談支援センターで引きこもりの相談を行っている。今後も各相談機関と連携し支援をしていく。

子どもの貧困対策について

問 市の取り組みは。

答 ひとり親家庭に対する生活の安定や自立を支援する取り組み、各種手当の支給及び貸付制度を通じた経済的支援、母子・父子自立支援員による相談支援、職業能力の向上資格取得等に関する就労支援を実施。平成29年度から、互いの悩みや情報交換ができる「ひとり親サロン」を開催している。

子ども食堂、地域食堂については、ひとり親家庭や共働き家庭などの子どもの孤独な食事の改善、経済的な理由で十分な食事ができていない子どもへの食事の提供、地域における子どもの居場所づくりや親と地域との



自殺予防週間ポスター

問 国は地域レベルの実践的な取り組みを推進しているが市の対策は。

答 平成30年度内に専門家や市民の意見を聞き、日高市自殺対策計画を策定する。



熱中症予防について

佐藤 真

問 今年、学校活動で熱中症にかかった生徒の有無と対策は。

答 夏休み後半のサッカーの大会で生徒1名が病院で治療を受けた。主催者は対策を立てているが、出来るだけ午前中に試合が消化できるように日程調整を依頼する。

問 今年のような酷暑では、今まで問題ないとされた校内ルールが子ども達を危険な状態にすることも考えられるが、校内ルールの点検と見直しは。

答 5月の運動会で応援席にテントを設置する、プールサイドで給水タイムを設けるなど臨機応変に見直しを行っている。また、プールサイドに日陰がない学校に対しては、テントなどを設けるように指導する。

問 日本スポーツ協会が出した熱中症予防のため

の運動指針でも、WBGT（暑さ指数）で環境評価することが望ましいとされている。学校やひだかアリーナにWBGT測定装置を設置する予定は。

答 市内の学校にはグラウンドやプールでの活動にも使える輻射熱を測定できる測定装置が望ましいと考えており、配当予算で購入を進めている。また、ひだかアリーナでは、メインアリーナ前と



ひだかアリーナのWBGT測定装置

弓道場に利用者が暑さ指数を確認できるよう、WBGT測定装置を設置した。

米軍機の飛行について

問 市内住宅地の安全を確保するための県や国への働きかけは。

答 埼玉県基地対策協議会を通じて、部品落下事故を含むいかなる航空機事故の発生も防止するため、航空機の整備実施体制の拡充や、相当の年数を経過した航空機に対する特別な整備を実施するなど、飛行前の整備点検を充実強化する旨の要望をしている。

問 飛行ルートの変更を県、国に要請することについての見解は。

答 基地対策協議会での要望に盛り込まれていないが、騒音など生活環境への配慮、周辺住民に不安を与えない旨で、国に要望する。



平成の次の時代を生きる若者達のために

山田 一繁

問 少子高齢化人口減少社会が加速している。減少幅は日本全体で昨年40万人を超えた。日高市では平成27年5万7千249人を起点として33年後には37.8%減の3万5千634人になるものと予想。また日本の年間出生数は平成28年に初めて100万人を切った。日高市における出生率は1.08と全国平均1.44を下回り危機的な状況である。未婚化・晩婚化の進行は少子化の大きな要因の一つである。日本の婚姻数は昭和45年の103万件をピークとしてそれ以降減り続け、この50年間で約40万件、4割近く減少。しかし条件さえ整えば結婚したいと希望する人の割合は男女ともに80%を超える。結婚は個人の価値観に係わるものではあるが社会全体の問題と考える必要がある。出会いの場を作り、結婚

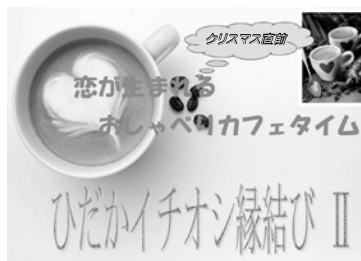
して住みたいまちづくりこそが行政に今、求められている使命。そこで結婚活動支援事業について、婚活イベントの具体的内容と特徴は。

答 日和田山でのハイキング等、市の魅力スポットを巡るコースで開催。バーベキューでは一緒に食材を焼いたり、食べたりのしながらコミュニケーションを図り、自然と会話が弾むような雰囲気の中で出会いを楽しめたものと思われる。

問 県の事業SAITAMA出会いサポートセンターとの連携は。

答 県内24の市町村や16の民間企業等が運営主体となり、結婚を希望される方の出会いから交際、結婚までをサポートする。相談員による交際や結婚全般に関する相談を受けることもできる。2年間の利用登録料が日高

市民は1万800円に割引される。



婚活イベントのご案内

郷土愛を育むプロモーション動画について

問 日高市をPRする動画制作の進捗状況は。

答 (株)ジェイコム社と契約を締結。市内各所を舞台としたストーリー性のある内容で、豊かな自然を中心に、市の魅力を存分に詰め込んだ動画とする考え。エキストラを交えた撮影を9月末から開始し、今年度末の完成を目指す。日高市を広くPRしていく。



学校教育について

齋藤 忠芳

問 自宅学習システムの利用率及び向上対策は。

答 授業でもドリル形式の教材として活用しており、コンピュータ教室のパソコンをタブレットとして普通教室で利用できるように中学校においては、利用率も毎月100%を超えている。また、夏休みの補習授業で使用している学校もあり、7、8月の利用率は100%を超えている。しかし、小学校では普通教室での利用環境が整っていないため、利用率は24%にとどまっている。保護者からは、子どもの力にあつた学年から勉強できる。最初のページにたどり着けない。スマートフォンなどの画面では使いにくいなどの意見を受けている。今後、システム開発をしている会社に改善を求めている。利用率向上対策としては、学校間で利用方法は

情報交換を進め、利用格差を減らしていくとともに、学習を開始する認証画面にアクセスできるQRコードを用意し、学校からのプリントに入れてもらうなどPRに努め、学習が開始しやすくなるよう工夫していく。

土曜日高塾の実績は。

問 29年5月から市内全小学校で土曜日実施している日高塾の実績は。

答 小学校4年生から6年生を対象として全小学校で実施している。29年度、延べ参加児童数は、1千506人となっており、対象となる児童の約10%が参加。参加している児童からは、すぐ質問できていい。みんなで勉強できて楽しい。地域の講師からは、道で会つても子どもたちが挨拶してくれるようになった。などの感想をいただいている。課題としては、勉強の苦



活用されている日高塾

手な児童になかなか参加してもらえないことで、PRを考えている。

問 学校施設に防災ガラスの導入の考えは。

答 児童生徒の安全確保及び地域の避難所としての機能確保のため、全小学校の校舎及び体育館の非構造部材耐震補強等改修工事に係る設計を予定している。対応策を検討する中で、防災ガラスの有効性についても検討。



臨時・非常勤職員の実態

田中 まどか

問 臨時・非常勤職員の人数、賃金、勤務条件等どうなっているか。

答 総数は375人で、男性71人、女性304人。全職員数に占める割合は49.6%。賃金を時給換算した場合の平均額は、すべての職種の平均では1千246円、事務補助などでは910円が最低額。期末手当等はない。休暇は勤務日数に応じて年次有給休暇を付与しているが、特別職非常勤には休暇の制度はない。労働保険について未加入の職員はいない。

問 公務員制度の大転換とも言われる、2020年から導入される会計年度任用職員制度についてどう対応していくのか。

答 現在、関係課との調整、業務の見直し、条例整備のための事務、人件費の算出根拠の検証などを行っている。

プログラミング教育について

問 2020年から小学校で必修化されるが、ねらいは何か。

答 プログラミング言語や技能を覚えるのではなく、論理的思考を育み、身近な問題の解決に主体的に取り組む態度や、コンピュータなどを活用してより良い社会を築こうとする姿勢を育む。

問 どのように実施されるのか。

答 プログラミングという教科が新設されるわけではないので、既存の教科の中で学習内容に関連付けながら無理なく実施していく。

必修化の課題は。

答 学級担任のスキルアップについては、中学校教員や地域の方の支援を受けたい。ICT環境については、機器や校内LAN等通信環境の整備

も引き続き行っていく。

地域交流ひろばについて

問 平成31年度までに市内12力所の開設を目指すとしていたが進捗状況は。

答 現在開設は2力所。

問 事業の遅れの原因は。

答 公会堂などを借りることについて、地域の方の理解が得られない。

問 この事業は子育て支援及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の目玉事業。達成の見込みは。

答 31年度末の達成に向けて鋭意努力していく。



地域交流ひろばの様子

委員の活動等

総務福祉 常任委員会

○9月6日(木) 議案第50号・平成30年度日高市一般会計補正予算(第2号)、議案第51号・平成30年度日高市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、議案第52号・平成30年度日高市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)、議案第53号・平成30年度日高市介護保険特別会計補正予算(第2号)、議案第56号・日高市議会議員及び日高市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例、議案第57号・日高市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例、議案第58号・日高市重度心身障害者医療費助成金の支給に関する条例の一部を改正する条例について審査しました。

文教経済 常任委員会

○9月7日(金) 議案第50号・平成30年度日高市一般会計補正予算(第2号)、議案第54号・平成30年度日高市武蔵高萩駅北土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)、議案第55号・日高市小規模企業振興基本条例、議案第59号・市道の路線の認定について、議案第60号・市道の路線の廃止について、請願第1号・老朽化した東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する請願について審査しました。

議会運営 委員会

○8月21日(火) 9月定例会の会期及び議会の運営等に関する調査をしました。

全員協議会

7月25日(水) 次の事項について市長から報告がありました。

報告事項

○(仮称)平成31年春巡業大相撲日高場所の開催に向けた取組について

○メッツアビレッジ開業とそれに伴う交通対策について

○市有施設におけるブロック塀等の緊急点検等の実施状況について

○平成30年7月豪雨災害への対応状況等について

○武蔵台学童保育室の拡張について

○重度心身障がい者医療費助成制度の見直しについて

○市議会議員及び市長の選挙における選挙公営の見直しについて

8月21日(火) 次の事項について市長から報告がありました。

報告事項

○都市計画道路の変更について

○高萩北部地区の土地地区画整理事業について

○日高市における小中一貫教育について

9月3日(月) 次の事項について市長から報告がありました。

報告事項

○職員の不祥事について

9月11日(火) 次の事項について市長から報告がありました。

報告事項

○外郭団体会計口座における使途不明金について

9月21日(金) 次の事項について市長から報告がありました。

報告事項

○高麗川駅東口開設に関する調査設計業務の成果について



会期日程

第3回定例会は、次の日程で開かれました。

8月28日(火) 開会。市長行政報告。会期の決定。

議案7件の提案説明・監査委員の決算審査報告。議案11件の提案説明。

8月29日(水)～9月2日(日) 休会。

9月3日(月) 議案7件の質疑・決算特別委員会設置・委員会付託。議案11件の質疑・委員会付託。

9月4日(火)～10日(月) 休会。

(休会中に総務福祉常任委員会、文教経済常任委員会、決算特別委員会を開催し、付託された議案等を審査)

9月11日(火) 一般質問。

9月12日(水) 一般質問。

9月13日(木)～9月20日(木) 休会。

(休会中に決算特別委員会を開催し、付託された議案を審査)

9月21日(金) 議案18件の委員長報告・質疑・討論・採決。請願1件の委員長報告・質疑・討論・採決。市長行政報告。閉会。



日高市議会の議場は、市役所の4階にあります。傍聴を希望される方は、4階の議会事務局で受付をしてから5階の傍聴席へお願いします。(傍聴席：写真上部の席)

議員活動の状況や議会の様子を誰でも知れる良い機会なので、定例会（本会議）の際は、是非ともお越しください。

12月定例会の日程

11月27日(火)

開会、市長行政報告、
議案の提案説明

12月 3日(月)

議案質疑、議案の委員
会付託等

12月10日(月)

一般質問

12月11日(火)

一般質問

12月14日(金)

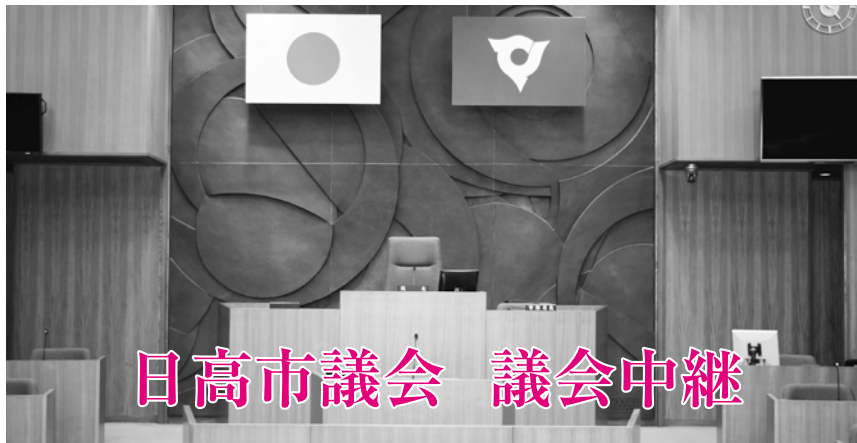
委員会の審査報告、質
疑、討論、採決等、閉会

※日程は、変更される場
合があります。

市議会インターネット中継 (録画配信)

市議会では、本会議の映像を録画配信しています。

傍聴に来られない人でも、本会議の映像を市ホームページ（市議会）からご覧いただけます！



中継録画は本会議終了後、およそ7日後（土曜日・日曜日・祝日を除く）までに配信しています。

（日高市 HP アドレス） <http://www.city.hidaka.lg.jp/>

議会フォトピックス

市内の各事業取材してきました！



第24回おらがむらの相撲大会（9.1 野々宮神社）



第17回日高市音楽の集い（9.1 ひだかアリーナ）



行幸啓記念碑除幕式（9.17 巾着田曼珠沙華公園）



曼珠沙華まつり（9.15～9.30 巾着田）



高麗郷古民家公開5周年記念 十三夜祭
（10.21 高麗郷古民家）



日高市三道大会（11.3 ひだかアリーナ）
（三道：剣道・弓道・柔道）

市民の皆様には、ご自愛いただき、健康で、はつらつとした日々を過ごしていただければと思います。

今後より多くの方に読んでいただける「議会だより」を目指して、努めてまいりますので、よろしく願います。

朝日のまぶしさ、日なたのぬくもり、風の冷たさ、純白の雪の美しさ、星空の輝き、厳しさと同時に美しさを感じられる季節でもないでしょうか。

季節だと感じます。

さて、外に出るのがおっくうになりがちですが、澄んだ空気の中を歩く、スポーツをするなど体を動かすと、心身ともにリフレッシュできる季節だと感じます。

今回の議会だよりは、9月議会で行われた一般質問、29年度決算の認定をはじめとする議案の審議などの議論をお届けしています。

過ぎたと思いきや、実りの秋はすぐに過ぎ、寒い冬の足音がすぐそこに来いています。市民の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

今年度の議会だよりは、9月議会で行われた一般質問、29年度決算の認定をはじめとする議案の審議などの議論をお届けしています。

編集後記